

# 豊 交 流

## 愛媛県鬼北町編

大分県側の9自治体と豊予海峡を挟んだ対岸の愛媛県側9自治体間で「愛媛・大分市町村連絡会議」を立ち上げ、圏域同士の新たな交流がスタートしました。

コラボ企画としてお互いの広報誌の相互掲載を行い、それぞれの歴史・文化や、食の魅力を紹介しています。

### 鬼北町の概要

鬼北町は、愛媛県西南地域の内陸部に位置する、人口約9,900人の自然豊かなまちです。西部を除き標高1,000m級の山岳に囲まれており、古来より鬼ヶ城山系の北に面する一帯を「鬼北」と呼ばれていたことから、平成17年に広見町と日吉村の合併により「鬼北町」が誕生しました。

全国で唯一、自治体名に「鬼」の字が使われている鬼北町は、鬼の巨大モニュメントの設置や鬼嫁コンテストなど鬼をテーマにしたまちづくりに取り組んでいます。



### 鬼のまちづくり



▲鬼王丸



▲柚鬼嫁

鬼北町にある2つの道の駅には、それぞれに鬼の巨大モニュメントがあります。道の駅「森の三角ぼうし」にいるのは、筋骨隆々で凄みをきかせた表情の「鬼王丸」。学業成就、恋愛成就、金運アップの願いを叶えるとされ、道の駅内の宝くじ売り場では高額当選が続出しています。

もう1つの巨大モニュメントは、道の駅「日吉夢産地」にいる「柚鬼嫁」。抱きかかえる子どもは、幼き頃の鬼王丸です。家内安全、縁結び、安産祈願の願いを叶えるとされています。

そのほかにも店舗や倉庫などの外壁にユニークな鬼が描かれた「鬼のウォールアート」など、町内の至るところで、様々な表情をした鬼と出会うことができます。

### 鬼北町の特産品

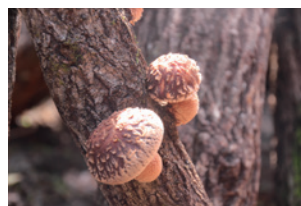
愛媛県一の生産量を誇る鬼北町の柚子。ポン酢や焼き菓子など柚子を使った加工品も豊富にあり、秋の収穫時期には、柚子の爽やかな香りがまちに漂います。

1,000m級の山岳に囲まれた鬼北町は、原木生しいたけの栽培も盛ん。原木で育てられたしいたけは、肉厚でジューシー。菌床しいたけよりも豊かな風味を持ちます。

鬼北熟成雉は、野趣あふれる濃厚な旨味が特徴。町内の8軒の農家がきじを育てており、低温熟成、急速冷凍などを行い、きじ肉の旨味を最大限に引き出したうえで販売しています。



▲きじ肉



▲しいたけ



▲柚子